

開設講習名	【選択】アクティブ・ラーニングの実践と効果 について考える		講 師	林 透	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開 設 日	平成 29 年 8 月 22 日		時間数	6 時間	受講予定人数 30 人
受講者募集期間	平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日		履修認定時期	平成 29 年 9 月 30 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	中学校・高等学校教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
<p>【到達目標】</p> <p>近年、学校教育及び大学教育を問わず、生徒・学生の「主体的・対話的で深い学び」を促進するため、アクティブ・ラーニングの実践が求められている。本講習では、大学教育での実践や最新の研究成果等を紹介しながら、以下のことを修得することを目的とする。</p> <p>①アクティブ・ラーニングの意義について説明することができる。</p> <p>②アクティブ・ラーニングの導入方法や教育的効果に関する知識や技能について理解し、実践することができる。</p>					
<p>【講習の概要】</p> <p>本講習の前半では、アクティブ・ラーニングの実践事例やアクティブ・ラーニングの効果検証の最新動向を紹介しながら、生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる方策について考える。後半では、グループワークを通して、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業計画改善案を作成し、グループ発表を通じた体験学習を行う。</p> <p>1)チェックイン(アイスブレイキング)</p> <p>2)大学教育におけるアクティブ・ラーニングの事例紹介 アクティブ・ラーニング科目シラバスや成果物の紹介を行うとともに、最新の学習評価の動向などを紹介する。併せて、受講者の意識調査等を行うため、クリックカーを使用しながら講習を展開する。</p> <p>3)グループワーク Part1 ①受講者は、アクティブ・ラーニングの要素を取り入れることを意識して、自分の授業計画の改善案を作成。 ②グループにて共有。</p> <p>4)グループワーク Part2 ③グループワーク Part1 を踏まえ、アクティブ・ラーニング科目の授業設計や学習評価について議論。 ④グループ発表(わたしたちが理想とするアクティブ・ラーニング授業とは)</p> <p>5)チェックアウト(振り返り)</p> <p>6)最終試験</p>					
<p>【評価の方法・評価基準】</p> <p>評価の方法：筆記試験</p> <p>評価基準： 合 格：講義内容を理解し、説明することができる。自らの授業においてアクティブ・ラーニングの実践を行うことができる。 不合格：上記以外</p>					
<p>【テキスト・参考文献】</p> <p>事前にテキスト(資料)を配布予定。また、参考文献として、①『アクティブラーニング』(シリーズ 大学の教授法3)中井俊樹編著・玉川大学出版部、②『アクティブラーニング入門 アクティブラーニングが授業と生徒を変える』小林昭文著・産業能率大学出版部などを紹介します。</p>					
<p>【受講者への伝達事項】</p> <p>受講者が担当されている授業計画表(指導計画案)をご持参ください。</p> <p>本講習では、グループワークを取り入れながら、受講者全体でアクティブ・ラーニングについて考えてみたいと思いますので、動きやすい服装でお越しください。筆記用具、ノートを併せて準備してください。</p>					